

〔クロレートSの使用事例〕

クロレートS
45kg/10a 散布区
約75日後の様子

無散布区



ササ類生育期へ
適用拡大!

〔使用量〕 ※詳細についてはラベル等をご覧ください。

竹 類 土壌散布
ササ類 45g~60g/m²
*生育期、1回

〔適用雑草と使用方法〕 (抜粋)

| 作物名 | 適用場所 使用目的 | 適用雑草木名 | 使用時期 | 使用量 | 本剤の 使用回数 | 使用方法 | 塩素酸塩を含む 農業の総使用回数 |
|-----|---|----------------|---------------|-------------|-------------|------------------------------|---|
| 樹木等 | ・公園 ・堤とう ・駐車場 ・道路 ・運動場 ・宅地 ・のり面 等 | 一年生及び 多年生雑草 | 雑草生育 初期~中期 | 15~25kg/10a | 3回以内 | 植栽地を除く 樹木等の周辺地に 雑草茎葉散布 | 3回以内 (※全面土壌散布は 1回以内、但し 当該処理をする場合 には雑草茎葉散布は 1回以内) |
| | | ササ類 | 雑草生育期 | 45~60kg/10a | 1回 | 植栽地を除く 樹木等の周辺地に 全面土壌散布 | |
| 樹木類 | 林地 放置竹林 | 竹類 | 竹類生育期 | 10~20g/本 | - | 節間に穴を開け そのまま投入 | |

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

竹も ササも
枯らします!

そのまま
撒ける
粒タイプ

農林水産省登録 第11912号

クロレートS

除草剤

取扱い

丸善薬品産業株式会社

東京都千代田区鍛冶町2-9-12(神田徳カビル) 03-3256-5561
大阪府中央区道修町2-4-7 06-6206-5531
福岡市中央区天神4-1-37(第1明星ビル7階) 092-707-1593
札幌市中央区大通西6-1(富士フィルム札幌ビル) 011-261-9024
仙台市青葉区大町1-1-8(第3青葉ビル) 022-222-2790

製造

株式会社 イスデー・イス バイオテック

有効成分 塩素酸ナトリウム 50.0%

性状 類白色 1190μm 以上の粒状

毒性 劇物

竹 防除のポイント

春 タケノコの発生時が最も効果的!

水分と一緒に薬剤を大量に吸収。

特にタケノコ自体が小さい時期は植物体に対する薬剤吸収量が膨大になるため、**効果が高く、発現も早くなります。**

地下茎が伸長する前に竹を枯らす、もしくは葉を落としてしまえば、

地下茎の生育もストップ!

秋 翌春の発生を抑制します。

芽子(タケノコになる部分)形成と肥大生長を抑制します。

【散布時期の例】

竹の種類、生育地域やその年の気候によってタケノコの発生時期は異なります。ご注意ください。

| 竹の種類 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------|------------|----|----|-----------|----|----|----------|----|----|-----|------------|-----|
| モウソウチクの場合 | 芽子の成長期(地中) | | | タケノコの発生時期 | | | 地下茎の伸長時期 | | | | 芽子の成長期(地中) | |
| | | | | 処理最適期 | | | | | | | 秋の処理時期 | |
| マダケの場合 | 芽子の成長期(地中) | | | タケノコの発生時期 | | | 地下茎の伸長時期 | | | | 芽子の成長期(地中) | |
| | | | | 処理最適期 | | | | | | | 秋の処理時期 | |

竹とササの違い

| | 皮の落ち方 | 稈から出ている枝の数 |
|---|---|------------|
| 竹 | タケノコから竹への伸長途上で落下、成竹となった時点では一枚の皮もついていない。 | 2本以上 |

上手な使い方

① 竹の種類を判別

- 竹の種類によってタケノコの発生時期は異なります。
→ 毎年の発生時期を確認し、散布適期に散布しましょう。

春のタケノコの発生時期の散布が最も効果的です。

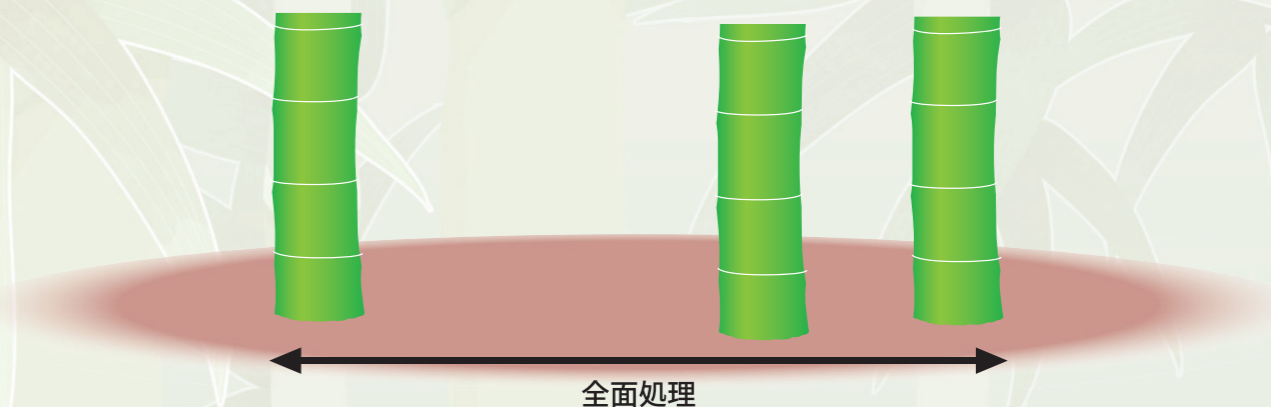
- タケノコが大きくなる前に散布しましょう。
- 植栽地では使用できません。
- 薬剤処理された場所から発生したタケノコは食べないで下さい。

② 散布表面の堆積物(枯葉)を除去

- 出来る限り土壌表面の堆積物(枯葉等)を除去し、薬剤が土壌中に浸透しやすくすることが重要です。

③ 薬剤は根元だけでなく、周辺までできる限り広く散布

- 竹の地下茎は地中で広く分布(数十メートルになる場合あり)。
→ 全面処理で地下茎もしっかり枯らしましょう。



注意点

- 急斜面での散布はさける
- 効果の発現には時間と適度な土壌水分が必要
- 周辺の有用植物の植栽地に流入または飛散しないように注意
- 有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさける
- 竹は立ち枯れすると、倒れやすくなるので注意

| | 皮の落ち方 | 稈から出ている枝の数 |
|----|-----------------------|------------|
| ササ | 成長完了し、寿命で枯れるまで皮が落ちない。 | 1本 |